【 大島町 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢	(40歳以上)	している
検査方法	(胃部X線検査)	している

<住民の検診受診状況>

The state of the s					
	男性	女性	男女計		
該当年齢の人口	2,711	2,869	5,580		
【東京都調査による対象者率(東京都): 59.6%】					
実際の受診者数	81	78	159		

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

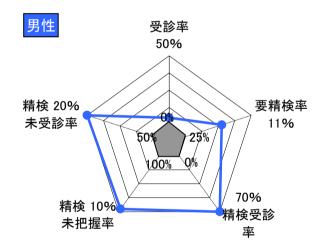
対象年齢以外の実施	20~39歳
左記以外の検査の実施	胃部X線または内視鏡検査 (選択制)

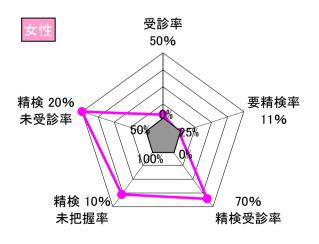
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

	<u> </u>
対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

くがん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標值50%	5.0%	4.6%	4.8%
要精検率	11%以下	17.3%	25.6%	21.4%
精検受診率	70%以上	78.6%	60.0%	67.6%
精検未把握率	10%以下	14.3%	30.0%	23.5%
精検未受診率	20%以下	7.1%	10.0%	8.8%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%





【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 大島町 】 大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法 (便潜血検査(二日法))	している

<住民の検診受診状況>

1				
	男性	女性	男女計	
該当年齢の人口	2,711	2,869	5,580	
【東京都調査による対象者率(東京都): 64.9%】				
実際の受診者数	330	511	841	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

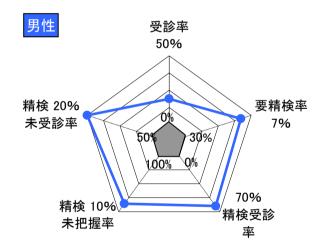
対象年齢以外の実施	20~39歳
左記以外の検査の実施	していない

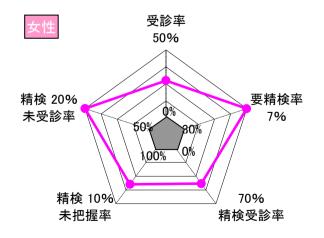
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

	<u> </u>
対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

くがん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標值50%	18.8%	27.4%	23.2%
要精検率	7%以下	10.6%	7.0%	8.4%
精検受診率	70%以上	62.9%	44.4%	53.5%
精検未把握率	10%以下	22.9%	41.7%	32.4%
精検未受診率	20%以下	14.3%	13.9%	14.1%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.9%	2.8%	2.8%
がん発見率	0.13%以上	0.30%	0.20%	0.24%





【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【 大島町 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢	(20歳以上:隔年)	毎年
検査方法	(細胞診)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計	
該当年齢の人口		3,464		
【東京都調査による対象者率(東京都): 64.8%】				
実際の受診者数		354		

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

1			
対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施		
左記以外の検査の実施	していない		

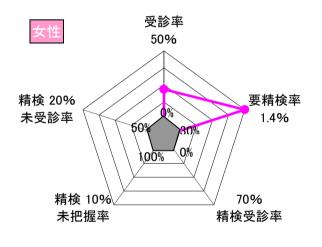
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している		
個別に受診勧奨	していない		
過去3年間の受診歴を記録	している		
精検未受診者への精検受診勧奨	している		

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.8%	
要精検率	1.4%以下		0.0%	
精検受診率	70%以上		-	
精検未把握率	10%以下		-	
精検未受診率	20%以下		-	
陽性反応適中度	4.0%以上		-	
がん発見率	0.05%以上		0.00%	

【評価結果】



『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【 大島町 】 乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

<u> </u>	
対象年齢(40歳以上	:隔年) している
検査方法 (視触診及び	マンモグラフィ)している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計	
該当年齢の人口		2,869		
【東京都調査による対象者率(東京都): 72.6%】				
実際の受診者数		236		

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	30~39歳		
左記以外の検査の実施	していない		

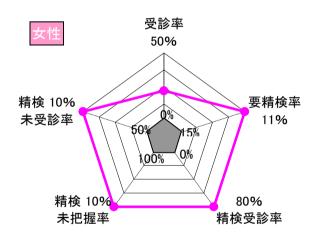
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している		
個別に受診勧奨	していない		
過去3年間の受診歴を記録	している		
精検未受診者への精検受診勧奨	している		

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		22.2%	
要精検率	11%以下		4.7%	
精検受診率	80%以上		90.9%	
精検未把握率	10%以下		9.1%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		0.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.00%	

【評価結果】



又的半夕

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。